

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公開番号】特開2008-170536(P2008-170536A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-1398(P2007-1398)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/133 5 8 0

G 0 9 G 3/20 6 3 1 B

G 0 9 G 3/20 6 3 1 U

G 0 9 G 3/20 6 5 0 M

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/20 6 2 1 E

G 0 9 G 3/20 6 2 1 K

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データを記憶する画像記憶手段と、
表示部の温度と、前記表示部に表示される画像の第 1 の階調値とを対応させたテーブル
を記憶する記憶手段と、

前記表示部の温度を取得する温度取得手段と、
前記温度取得手段により取得された温度と前記記憶手段に記憶されたテーブルとを用い
て、前記第 1 の階調値または前記第 1 の階調値と異なる第 2 の階調値のいずれかに前記画
像データを変換する 2 値化手段と、

前記 2 値化手段により変換されたデータに対応する電圧を前記表示部に印加する印加手
段と

を有する表示駆動装置。

【請求項 2】

前記温度取得手段により取得された温度に基づいて基準温度を決定する基準温度決定手
段を有し、

前記テーブルの数が複数であり、各テーブルは異なる基準温度に対応し、

前記 2 値化手段は、前記複数のテーブルのうち、前記基準温度決定手段により決定され
た基準温度に対応するテーブルを用いて前記変換を行う

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示駆動装置。

【請求項 3】

前記表示部が複数の領域に区分され、
前記温度取得手段は、前記複数の領域の温度を取得し、
前記 2 値化手段は、前記領域を単位として補正を行う
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示駆動装置。

【請求項 4】

前記印加手段は、第 1 の範囲内の電圧を印加する第 1 の動作モード、および前記第 1 の範囲と範囲の幅が異なるかまたは境界の電圧値が異なる第 2 の範囲内の電圧を印加する第 2 の動作モードのうちいずれか一の動作モードに対応する電圧を前記表示部に印加することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかの項に記載の表示駆動装置。

【請求項 5】

表示部と、
画像データを記憶する画像記憶手段と、
前記表示部の温度と、前記表示部に表示される画像の第 1 の階調値とを対応させたテーブルを記憶する記憶手段と、
前記表示部の温度を取得する温度取得手段と、
前記温度取得手段により取得された温度と前記記憶手段に記憶されたテーブルとを用いて、前記第 1 の階調値または前記第 1 の階調値と異なる第 2 の階調値のいずれかに前記画像データを変換する 2 値化手段と、
前記 2 値化手段により変換されたデータに対応する電圧を前記表示部に印加する印加手段と
を有する表示装置。
【請求項 6】
請求項 5 に記載の表示装置
を有する電子機器。